

校長室だより

誰もが夢と誇りを持てる
学校づくりを目指して

No.19

令和元年 11月12日 文責 校長 林 寛



避難訓練

11月7日(木)の5時間目に、地震による火災発生を想定した全校での避難訓練を実施しました。今回は理科室が出火元ということで、理科室で授業をしていた6年2組の子供と火元に近かった1・2年生の子供にとっては、緊張感の高まる部分があったと思います。しかし、担任の指示に従って、落ち着いて集合場所に集まることができました。訓練の様子を見ていただいていた神埼消防署吉野ヶ里出張所の方からは、(地震発生の場合)①頭を守り、足元に注意しながら避難すること (火災発生の場合)②有毒ガスや熱は上に集まるので、姿勢を低くして避難すること という2つのアドバイスをいただきました。かけがえのない命を自分で守るために大切なこととして守っていきたいと思います。



実りの秋

秋の深まりとともに、子供たちが育てていた田畑から立派に育った米やサツマイモが収穫されました。5年生は、11月1日(金)に地域の方やJAの方にお世話になりながら稲刈りをしました。今年の米は、大雨や台風、ウンカの影響で不作とのことでしたが、みんなで力を合わせて、手際よく稲刈りができました。学校の畑では、2年生が10月31日(木)に、1年生が11月7日(木)にいもほりをしました。大きなサツマイモが見つかる大きな歓声があがっていました。少しずつですが、お家にも届くかもしれません。5年生は、12月にもちつきをすることにしています。



あいさつ

月に一度実施している生活朝会の中で、担当の先生が「あいさつ」についての話をしてくれました。「気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣いをする」が年間を通した生活の目標になっているからです。「相手のことを考えた」あいさつということに焦点を当てた具体的な例を挙げての話でしたが、翌日からの子供たちのあいさつの様子(声の大きさ、視線、表情…)に変化が見られるようになりました。きっと朝会の後に各教室でも担任から指導があったのだと思います。全体と各クラスでの連携した指導の効果と大切さを改めて感じました。まだまだのところもありますが、家庭や地域のかも借りながら、継続して指導を続けたいと思います。



ノーテレビ・ノーゲームデー 取組結果

11月1日は、県PTAの呼びかけで取り組む県下一斉の「ノーテレビ・ノーゲームデー」でした。取り組みについて、東脊振小の各家庭での状況を集計したところ右の表のようになりました。完全にノーテレビ・ノーゲームを実施することは、なかなか難しいかもしれませんが、テレビなどの時間を減らして、親子で一緒にできることをやってみることから始めてみてはどうでしょうか？

11月1日は、
県PTAの呼びか
けで取り組む県

	取り組めた
低学年	67%
中学年	43%
高学年	38%
全体	49%

学校のホームページで、日々の生活の様子を紹介しています。